



## 海外留学でよくあるお悩み

Q. IELTSとTOEFLはどちらがおススメですか？

A. IELTSとTOEFLそれぞれのメリットとデメリットを紹介します

### 詳しいアドバイス

海外の大学へ留学したい！という時に必要になるのが、IELTSやTOEFLのスコア。国内の推薦入試でもスコア証明で有利になり、人生の選択肢に広げることが出来ます。この資料では、TOEFLかIELTSのメリット・デメリットについて比較しながら解説します！

#### IELTSとTOEFLの違いは？

基本構成はどちらも同じです。IELTSとTOEFLは海外留学の際に利用される英語能力テストで、世界中で試験が実施されています。

問われる技能も表面的には同様です。受験者は、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの四つのスキルを問われ、出題に答えることで自身のスコアが算出され、留学出願の際にそのスコアを参考に選考が行われます。

#### **アナログのIELTSとデジタルのTOEFL**

いっぽう、2つの大きな違いとしてまずあげられるのが、回答方式です。

IELTSは基本的に筆記試験で、中学や高校のテストと同じタイプの試験方式です。また、スピーキングも試験場所で面接官とのマンツーマンで行われるタイプの、一般的な面接試験です。英検等を受験したことがある人には馴染みのある方法かもしれません。

TOEFLは筆記試験も実地でのマンツーマン面接もありません。テストは全て PC上の入力で行われ、キーボードとマウスの操作のみで回答していきます。また、スピーキングにおいても面接会場には面接官というものはおらず、音声案内にしたがいながら、自身の音声を録音することで回答します。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: [https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling\\_school/](https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/)

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © ㈱留学情報館 All Right Reserved





## 海外留学でよくあるお悩み

### 取り扱う英語にも違いがある

取り扱う英語にも大きな違いが見られます。

IELTSが取り扱うのは、主にイギリス英語です。加えてオーストラリアや南アフリカ英語など、イギリス英語に由来する諸々の英語も試験に取り入れられています。

いっぽう、TOEFLはビジネスや世界標準の英語としては評判のあるアメリカ英語に限定して試験が行われます。加えて、出題内容も実際に意味のある英語をきちんと使えるかどうかを意識して作られています。

### IELTSとTOEFLのメリット・デメリットまとめ

#### ①IELTSのメリット

##### <スピーキングが面接である>

コンピューターを相手に話すのは調子が狂う人は、IELTSのスピーキング試験が向いています。面接官との会話方式になるため、多少くらいなら聞きなおすことも可能です。

##### <各スキルのセクションが分かれているため、回答がシンプルに行える>

TOEFLは実践力重視のため、試験内容も基本的に聞く、書く、読むを同時に行わせる方向で作られています。しかし、IELTSは「聞くなら聞く」、「書くなら書く」でセクションが分かれているため、シンプルに問題をこなしていただければ回答できます。

##### <イギリス留学に利用可能>

TOEFLのスコアがイギリス留学には使えなくなったということもあり、イギリス留学を考えている人は、IELTSの受験が必須です。

#### ②IELTSのデメリット

##### <ケアレスミスが起こりやすい>

IELTSは筆記試験になるため、パソコンに入力するだけの TOEFLよりも必然的に誤字脱字などのケアレスミスが起こりやすくなります。

##### <イギリス英語に慣れていない人は苦戦？>

IELTSでのイギリス英語は、リスニングの際にイギリス独特の発音が多く使われます。アメリカ英語の発音に慣れていると、少し戸惑ってしまうかもしれません。

##### <受験回数がすくない>

週に1回ペースで全国的に行われている TOEFLに比べて、IELTSは大都市圏でも月に2・3回、少ないところでは数ヶ月に1回のペース。したがって、早急にスコアが必要な人や定期的に受験したい人には不向きです。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで！

(相談無料)

URL: [https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling\\_school/](https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/)

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。 © ㈱留学情報館 All Right Reserved





## 海外留学でよくあるお悩み

### ③TOEFLのメリット

#### <テストを通じて実践力がつく>

TOEFLは実際に使える英語能力を調べる試験です。そのため、TOEFLのスコアが高ければ高いほど、その人の実践的な英語力の高さの証明にもなります。

#### <パソコンに慣れている人は回答も楽>

TOEFLは筆記試験がないため、ライティングもタイピングで行われます。そのため、ケアレスミスや焦って字が汚くなり採点不可 ...、とったリスクが減ります。

#### <一日で試験が終わる>

IELTSの場合スピーキングは後日 ... というケースがありますが、TOEFLは拘束時間は4~5時間とやや長いものの、確実に一日で終わるスケジュールとなっています。

### ④TOEFLのデメリット

#### <難易度はやや高い>

TOEFLは日本の英語教育でもあまり行われていないタイプの「理解力」を問われる試験です。そのため、単純な英語力だけではスコアの獲得は難しく、TOEFLのための試験対策にかなり時間を取られる人も多い傾向です。

#### <スピーキングがやりにくい人も>

得手不得手はありますが、TOEFLのスピーキングは人に話すのではなく、あくまでも機械に録音するタイプのため、どうしてもやりづらく感じる人はいるかもしれません。

#### <イギリス留学には使えない>

イギリスの大学ではTOEFLのスコアは留学要件として採用してくれていないため、イギリス留学を考えている人はIELTSを受験しておきましょう。

## イギリス留学も考えているならIELTS、アメリカ留学専願ならTOEFL

「どっちの試験を受ければいいのか?」悩む方には、「どこに留学したいか?」で決めるのが良いと思います。

IELTSはイギリス留学にも使えるため、アメリカとイギリスで迷っている人はIELTSを受験すると良いでしょう。少し前まではアメリカの大学ではIELTSは留学には使えないところが多かったのですが、最近では大半の大学でIELTSを利用することが可能になりました。

いっぽうで、アメリカ留学だけを考えているならTOEFLがオススメです。全ての大学でTOEFL試験を採用しているので、志望する大学の選択肢が広がります。

「もっと話を聞きたい」「留学に興味がある」方はこちらまで!

(相談無料)

URL: [https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling\\_school/](https://www.ryugaku-johokan.com/contact/counseling_school/)

本資料はサービス導入校の生徒様・保護者にのみ提供されるものであり、引用又は第三者への提供はご遠慮ください。また、本資料は2022/3まで活用が可能となっています。© ㈱留学情報館 All Right Reserved

